

守りたい点		改善すべき点		
どんぐり	大ホール	・2000席規模 ・今ある機能を踏襲（音響、仕様） ・ステージの間口、奥行き ・楽屋が沢山あるのは有難い	・大ホール専用のリハーサル室 ・旧館期間でできるだけ短く →新規で1500クラスのホールを作ってから改築 ・使用時間を22時まで ・中ホール専用リハ室	・楽屋の音漏れ ・座席が固い、狭い ・楽屋、ステージ裏のバリアフリー化 ・リハ室と舞台の動線の充実
	中ホール	・本格的な舞台機構	・小ホール ・練習室の充実 ・稽古スペースの防音 ・レストランの整備 ・託児所	・広場、ラウンジ整備 ・会議室や和室 ・入りやすい雰囲気のある展示室 ・free wi-fi(海外の方の為に)
	創造支援	・広いスペースの部屋がある ・大会議室、展示室など平土間の空間	・小ホール ・駿府公園と一体化した施設 ・野外劇場 ・用もないのに来たい場所 ・内外一体	・アプローチ(北街道)との関係整備 ・駐車場として利用 ・芝生と木立を使ったイベントスペース ・交通アクセスを街づくりと合わせて考えたい
もみじ	大ホール	・長年市民に愛された施設である現状 ・充実した舞台設備 ・席数と距離	・座席数は「大」ホールであって欲しい ・座席の大きさ(幅、高さ) ・暗くても見える座席位置の表示 ・充実した楽屋	・スピーカーの質の向上 ・モニタービジョン ・階段をスロープに ・子供が泣いてもいい親子室 ・席の多様化(ファミリー、VIP等)
	中ホール	・大きな盆(回転舞台)→全国的に貴重な舞台設備 ・充実した舞台設備、機構→想像を後押しするホール ・広い展示場所(他と共有も有りだが)	・楽屋が汚い→改装	
	創造支援		・小ホールが欲しい→中は市民には大きすぎ	・文化創造活動のための人材登用、事業拡大 ・文化を作る事への特化 →居場所等は生涯学習センター ・デジタルサイネージなどのインフォメーション ・インターネットが気軽に借りる支援 ・コインクローク
松ぼっくり	大ホール	・音響の良さを維持	・楽屋の充実 ・バリアフリー→エレベーター ・チケット売場狭い	・客席数を押してもゆったりしたホールに ・入り口がわかりづらい導線が悪い
	中ホール	・舞台の広さ(袖、奥行きも含めて) ・楽屋が広くて使いやすい ・本花道を残す(見やすい客席の確保が条件) ・座席の配置 ・1000席→学校の発表会	・市民の日常的な利用 →カフェ、レストラン →市役所の戸籍、児童、高齢者関係の課 →勉強スペースを増やす(机、wi-fi設置) ・コンクリートでなく緑の多い広場へ! ・今は通路でしかない、人の集まる広場へ ・子供が遊べる広場 ・防災設備/スペースの確保	・小ホール(200席)の機能を持った部屋が必要 ・上の階のステージに音が響かないリハ室 ・階段の照明が暗い ・荷物の運搬の為に大型エレベーター ・イベントの構造物 ・日光が当たり、芝生のある広場
	創造支援		・花道は不要?見やすい客席が優先 ・女性トイレ増やす ・花道は不要?見やすい客席が優先	
かき	大ホール	・オーケストラピット ・2000人位の客席 →毎年のコンサートで1350人位の席が埋まるので ・ホールの大きさ→現状でも狭いので維持したい(演奏する部分) ・舞台スペースの確保→舞台の回転や搬入搬出がスムーズにできる ・中ホールは本花道がある点 →歴史の町という静岡のイメージに合致 ・楽屋が広くて使いやすい	・展示スペース→映像設備 ・展示スペース→現代アート表現空間	・静岡市全体で個性を→プロモはツインモール ・パイオルガンはAOIに、300人規模はたくさん ・音割れないスピーカー ・エレベーターの設置 ・客席が狭くて窮屈 ・スロープ少なく見にくい ・座り疲れしない椅子 ・座席にフットライト
	中ホール		・展示スペース→映像設備 ・展示スペース→現代アート表現空間	・利用者の年齢層の偏り →学生/勉強スペース →子供/遊べる(ブロック?)大人/カフェ、パ
	創造支援		・展示スペース→映像設備 ・展示スペース→現代アート表現空間	・利用者の年齢層の偏り →学生/勉強スペース →子供/遊べる(ブロック?)大人/カフェ、パ
くり	大ホール	・オペラ、演劇	・2階席をなくす ・客席のフレキシブル化	
	中ホール	・ホールの大きさを維持		
	創造支援	・展示スペース →絵画展は地方だけでなく中央展 →音響設備を置いて展示と音のコーポレーション →現代アート表現は現状では空間が少ない	・展示スペース→映像設備 ・展示スペース→現代アート表現空間	・利用者の年齢層の偏り →学生/勉強スペース →子供/遊べる(ブロック?)大人/カフェ、パ
いちご	大ホール	・同規模席数 ・古典芸能 ・利用率高いらしい! ・評判のいいスペースはそのまま!	・外観を新しく! ・舞台の安全 ・楽屋を増やす	・代替地はない? ・3年とはいえ休止期間困る
	中ホール			
	創造支援	・展示スペース(広い) →市民活動できる会場限られている	・展示スペース多様化 →超多目的なハコ (例)焼津の小ホール座席を収納フラットに ・日常使いが大事	人が集まる/若い世代 →図書館、レストラン →大学生の勉強スペース(カフェ、wi-fi)
きんぎょ	大ホール	・駐車スペース→現状でも足りない(最低限) ・若い人にはいいかもしれないが... ・搬入スペースも現状維持	・禁止が多い(スケボー、キャッチボールetc) ・夜も使える/中高生の専用スペース ・暇な時にいてもいい場 ・遊べる公園(子ども)	
	中ホール			
	創造支援			

第3回ワークショップ「再整備のこだわりポイントについて話し合おう!～みらいのカタチを考えよう②～」

これだけは譲れない! 施設へのこだわり



令和元年11月20日(水)、第3回「静岡市民文化会館のミライを描く市民ワークショップ」が開催されました。現在、静岡市では静岡市民文化会館の再整備について検討を進めています。このワークショップでのご意見は、新しい市民文化会館の導入機能や規模などの基本的な方針の検討に反映させていただきます。

第3回のテーマは、「再整備のこだわりポイントについて話し合おう!」みらいのカタチを考えよう②。前回「前回のワークショップでは、どんな付箋紙に想いを書き、様々なアイデアを共有してきましたが、今回は、これまでの意見を取捨選択し、「現文化会館の守りたい点はどこか?」「新しいホールに本当に必要な機能は何か?」じっくり議論していただきました。

新しい文化会館がこれまでと同じように市民に愛され続け、そして、次世代に残る素敵な施設となるよう、これからも一緒に検討を続けていきましょう!

今年度のワークショップは、今年で終了となりましたが、フィードバック編ワークショップを来年3月頃に開催予定です。市民文化会館が新しくなることで、どんなふうになり、変わっていったらいいか、皆さんにとってどんな「楽しいこと」が起こるか、そして、静岡市を訪れる人にとってどんな魅力が生まれるかについて話し合っています。皆さん是非ご参加ください!

なんでもアンケートでのご意見(一部抜粋)

今回も6グループに分かれて話し合い、最後には代表者の方に発表をしていただきました。「大ホールは今と同規模が良い」、「中ホールは古典芸能に対応したままが良い」などホールについて守りたいポイントは皆さん共通していました。しかし!楽屋をもっと充実させてほしい、小ホールがほしい、バリアフリー化を進めてほしい、子どもや若者の居場所がほしい...と改善を望む声も多く挙がりました。

また、創造支援の充実や広場の活用を求める意見がたくさんありました。ホールでの公演がない日でも、常に市民が集い、ぎわう施設となること、新しい市民文化会館に求められているのだと思います。

新しい文化会館がこれまでと同じように市民に愛され続け、そして、次世代に残る素敵な施設となるよう、これからも一緒に検討を続けていきましょう!

今年度のワークショップは、今年で終了となりませんが、フィードバック編ワークショップを来年3月頃に開催予定です。市民文化会館が新しくなることで、どんなふうになり、変わっていったらいいか、皆さんにとってどんな「楽しいこと」が起こるか、そして、静岡市を訪れる人にとってどんな魅力が生まれるかについて話し合っています。皆さん是非ご参加ください!

今までとは異なり、実態に沿った会館をテーマにしたことで、必要なものは何かに関してより具体的な意見が出てきたと感じました。

施設に詳しい方の話を聞けてよかった。年代の異なる方の意見が聞けて、自分の考えが深まった。

第2回に参加できなかったことが悔やまれました。ですが、今回も内容の濃い議論ができたかと思っています。今後は是非参加したいと思います!

本日も大好きな会館について、じっくり話ができ、楽しかったです。小ホールみたいな部屋がやっぱり欲しいです。これからもWS続けていきたいです。

